



COOP SHIGA CSR REPORT 2022

コープしがCSRレポート2022

ともしつくる
笑顔
あふれる未来



COOP SHIGA CSR REPORT 2022

コープしがCSRレポート2022



CONTENTS

理事長あいさつ 02

特集

2030年ビジョン実現に向けた取り組み

～コープしがの2021～ 03-04

コープしがの事業紹介 05-06

コープしがのCSR 07-08

2021年度活動報告

「たべる」たいせつ 09-10

「くらし」たいせつ 11-12

「ちいき」たいせつ 13-14

「びわこ」たいせつ 15-16

「いのち」たいせつ 17

県内自治体との協定・覚書一覧 18

コープしがの組織概要

事業における環境報告 19

環境に配慮した商品の普及実績 20

コープしがの概要／事業所一覧 21

コープしがのグループ会社 22

編集方針

「コープしがCSRレポート」は、コープしがが果たすべき社会的責任（Corporate Social Responsibility:CSR）と社会課題解決のためにやっている取り組みを、幅広いステークホルダーの皆様にご理解いただくことを目的に発行しています。

2008年の発行から数えて15回目となる今回は、独自視点の「5つのたいせつ」に基づいた構成とし、コープしがの活動をより分かりやすくお伝えすることを心がけました。

コープしが理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」のもと、持続可能な社会の実現に向けてどのような取り組みを行っているのか。掲載は活動の一部ですがみなさまにご覧いただければ幸いです。

「つながる」力を発揮して、 ともにつくる笑顔あふれる未来へ

長く続く「新型コロナウイルス感染」への不安を抱きながら、事業や運営に努めた一年でした。このような日々の中で、組合員、役職員、お取引先、関係する諸団体の方々からの協力や支援のもと、生協運動をすすめられていることに、深く感謝いたします。心からお礼申し上げます。

生活協同組合コープしがは、組合員のみなさんが大切な家計から出資し、組合員のくらしをよりよくするためにつくられている組織です。

生活協同組合コープしがの使命は、22万人の組合員一人ひとりのくらしに役立つことです。しかしながら日常にいただくのは「ありがとう」の声ばかりでなく、至らないことへのご意見も、まだまだたくさんあります。2021年度は組合員のみなさんの願いや想いを託してもらえる存在として、これまで以上に、組合員の声に基づいた運営・改善に取り組んだ1年でした。

また、2023年で生活協同組合コープしがは、創立30周年を迎えます。長きにわたって、組合員のみなさんに育まれたコープしがが、見守りや防災など、ともに地域のくらしを守る一員として、多くの県市町行政や社会福祉協議会のみなさんとのつながりを持つことができました。私どもが2030年ビジョンでめざす「誰もが安心してくらすことをめざし、地域の中で役割を担っています」「大多数の人々の理解と共感、つながりを力に、持続可能な社会への取り組みを広げています」に近づくように力を発揮してまいります。

生活協同組合コープしがは「ともにつくる 笑顔あふれる未来」という理念のもと、「私たちは、くらしへの想いや願いを出し合い、共感し合い、ともに考える、そのような人と人とのつながりを大切にします。」「私たちは、つながることで安心と信頼を育み、ともに歩むことで笑顔あふれるくらしを創造し、次代へと継承していきます。」を信条としています。

新型コロナウイルスの感染拡大、紛争やエネルギー問題など、先を見通すことが困難な時代ではありますが、組合員・県民のみなさんや、県内の様々な団体や組織のみなさんとのつながりを深め、理念に近づく確かな歩みをすすめる2022年でありたいと願っています。

最後に、みなさまからの引き続きのご理解とお力添えをよろしくお願いいたします。

理事長 白石一夫





第41回通常総代会(2021年6月11日)で承認されました

特集

2030年ビジョン実現に向けた取り組み ～コープしがの2021～

2021年度総代会では、2030年ビジョン「やくだつ・つながる・ひろがる」は、コープしが理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」を実現するための10年後を描いた姿として今までも、これからもずっと組合員の期待に応えて、くらしに役立ち続けることを確認しました。

ビジョンの実現のために3カ年の中期計画（2021～2023年度）を作成し、ありたい姿の実現のための「土台づくり」として位置づけ、取り組みをスタートさせています。

滋賀県社会福祉協議会と 「包括連携に関する協定書」締結 (1/14)

コロナ禍は、生活課題を持つ人へ特に大きな影響を及ぼしており、中でも経済的に苦しい子育て世帯の生活困窮や、様々な悩みを抱える子どもたちの問題が深刻化しています。コープしがは、滋賀県社会福祉協議会と地域福祉について懇談し、地域福祉について一緒に考え行動できるよう、包括連携に関する協定書を結びました。

それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用し、地域福祉の発展と共生社会への理解の向上に資することを目的に、「災害時の被災者及び被災地の支援活動」や、「子どもを真ん中においた地域づくり」をはじめとする各分野で連携をすすめていきます。

「しが子どもの笑顔はぐくみサポート基金」 をスタート！ (2022/1/17～)

貧困や様々な悩みを抱える子どもたちが“笑顔”で暮らせるように応援する基金を創設しました。組合員が宅配、店舗で提供する県内商品・地場産農産物の利用を通じて、子どもたちや県内生産者を応援できる取り組みです。

積み立てた基金は、年に一度、滋賀県社会福祉協議会がすすめる「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」に寄付します。



締結式の様子

在庫商品の寄付

2021年11月からは、物流センターで宅配事業の在庫として確保してある商品を、毎月1回、「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」に寄付しています。



コロナ禍における寄付支援 みんなががんばろうサポート基金 (2021/3～2022/1)

コロナ禍での生活困窮者や医療従事者をサポートする「みんなががんばろうサポート基金」に取り組み、県内の大学生協を通じて大学生への支援として262万円を寄贈しました。商品の利用を通して、組合員と生産者、生協の3者が協力して取り組める、生協らしい取り組みをすすめました。

大学生協では寄付金を活用し、「近江牛丼」や「100円カレー」「近江牛コロッケ」などを安価で学生に提供をされました。

フードドライブの取り組み

コープしがの各事業所にフードBOXを設置し、組合員から余剰食品の提供を受け、「フードバンク滋賀」・「フードバンクびわ湖」を通して必要とする人に届ける「フードドライブ」の取り組みを行っています。

●2021年度フードボックス回収量：5,765.6kg



大学生のみなさん



食材配達の支援

滋賀県からの委託を受けて、新型コロナウイルス感染などで自宅待機を余儀なくされる方のうち、希望された方のお宅へ食材を届ける「自宅療養者・濃厚接触者食料支援事業」に協力しています（無償）。注文受付や配達の手配は滋賀県が、食材の調達・配達準備はスーパーが、食材の引き取りと配達はコープしがが担当し、協力してすすめています。



～滋賀県との協定に基づく取り組み～ お店での感染予防と コロナ差別防止の啓発活動

滋賀県との包括的連携協定に基づき、コープしがのお店4店舗で新型コロナウイルス感染予防動画を放映しました。

また、人権啓発デザインのソーシャルディスタンスシールをレジ前に設置しました。



2030年 コープしがのありたい姿

- ① 食の安全・安心を大切に一人ひとりのくらしへの役立ちを高め、生涯を通じて利用できる事業をつくりあげています。
- ② 誰もが安心してくらしをすることをめざし、地域の中での役割を担っています。
- ③ 大多数の人々の理解と共感、つながりを力に、持続可能な社会への取り組みを広げています。
- ④ 組合員と生協で働く誰もが、生き活きと輝き、より良いくらしづくりをめざして持続可能な経営を続けています。



コープしがの事業紹介

生協の役割は、組合員の「くらしを良くする」こと。
事業を通して組合員の想いや願いを実現できるよう、組合員の声に耳を傾けています。
生協の商品やサービスの一つひとつが組合員の声から生まれ改善されています。

宅配事業

安全・安心の商品を便利にお届けします。

宅配は県下9か所の宅配事業センターから、毎週約11万か所に安全・安心の商品をお届けしています。子育て世帯、高齢者、お勤めで忙しい組合員のくらしを様々な商品やサービスで応援しています。コープしがでは、決まった担当者が、毎週決まった曜日・時間に、組合員に商品をお届けするとともに、単に商品をお届けするだけでないお役立ちができると考えています。

●2021年度新規加入人数（宅配）：7,896人



利用者の声

商品をお届けしてもらだけでなく、見守りにもつながりとても安心でありがたいです。

店舗事業

新鮮な商品と品揃えの良さにこだわっています。

コープしがのお店は、「おいしさ」「楽しさ」「あったかさ」をコンセプトに、組合員の声に応え、毎日のくらしと食を応援しています。ぜぜ店・もりやま店・かた店・ながはま店の4店舗で、買い物に不自由されている方の支援など、地域で一番やさしいお店を目指しています。

●2021年度新規加入人数（店舗）：5,439人



利用者の声

コープのお店の魅力は、他にはない鮮度や美味しい生鮮食品・惣菜の品ぞろえです。コロナ禍でもスタッフから声かけがあり、元気をもらえるコープのお店、やっぱりくらしの中での大きな存在です。

夕食サポート事業

笑顔の食卓をサポートします。

夕食宅配「つながり」は、高齢者、一人暮らし、共働き、育児などで毎日の夕食づくりに困っておられる方をサポートします。事業開始から10年の間に減塩おかず、やわらかおかずの開発など組合員さんの声に応えてきました。これからも、楽しく健康的な食生活を応援していきます。



利用者の声

「減塩食」をお願いしてみましたが、とてもおいしくいただきました。これからもよろしく願います。

共済事業

組合員のくらしの安心を広げるCO・OP共済

「自分の掛け金が誰かの役に立つ」という組合員どうしの助け合いです。手頃な掛け金でしっかりと組合員の家族みんなの保障となるよう、CO・OP共済は組合員の声で充実していきます。

お誕生日には「おかわりございませんか」の手紙を届けて、「請求忘れゼロ」を目指しています。

●契約件数：110,125件（2022年3月現在）



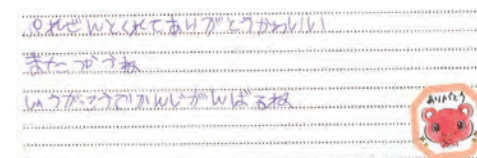
コープぜぜ店 共済カウンター

ありがとうの声

生協職員さんが時々「軽いケガでの通院も保障の対象だったりするから、何でも聞いてきてくださいね」等の声をかけてくださるので、些細な事でも聞きやすいので助かります。

コープしがでは、毎年4月にコープ共済にご加入いただいている新小学一年生の方を対象に手作りのお弁当袋をプレゼントしています。

県内の障がい福祉サービス事業所と、岩手県の「おおつちおばちゃんくらぶ」・「願いのハーモニー」のみなさまが想いをこめて作ってくださっています。



お礼のお手紙

エネルギー事業（コープでんき）

コープでんきは「突然のトラブル時でも安心」「身近で安心」「家計に安心」の3つの安心サポートをすすめています。

住宅用太陽光発電の余剰電力の買取りも行っています。

●契約件数：11,899件（2022年3月現在）



利用者の声

真夜中に家中の電気が落ちてしまい、電話しました。早く受けて下さり、話を聞いてもらえてとても安心しました。近くの電気屋さんも教えていただき、すぐに来てもらえました。無事、電気が通ってからも、再度お電話をいただき様子を聞いてくださいました。すごく丁寧で親切で「コープでんき」にして良かったと思っています。

介護事業

コープしがは、福祉を「一人ひとりの人が社会的つながりの中で、その人らしさをもって幸せに生きること」ととらえ、組合員、地域の方々とともに「くらしを創造する福祉」を目指しています。

■ケアサポートセンターぼこ野洲

（訪問介護・居宅介護支援・障がい福祉サービス（居宅介護）・介護保険外サービス）

- その人らしいくらしを護る訪問介護
- 住み慣れた地域で、生き生きとしたくらしを支える居宅介護支援



コープしがのCSR

理念

ともにつくる  あふれる未来

私たちは、暮らしへの想いや願いを出し合い、共感し合い、
ともに考える、そのような人と人とのつながりを大切にします。

私たちは、つながることで安心と信頼を育み、ともに歩むことで
笑顔あふれる暮らしを創造し、次代へと継承していきます。

コープしがとSDGs

SDGsのめざすものは、コープしがが理念として目指す「
ともにつくる 笑顔あふれる 未来」のゴールと同じです。

くらしの営みは、ずっと続きます。私たちが安心してく
らすことを当たり前の価値として取り組んでいる多くの事
業や活動は、SDGsの17の目標と何らかの関わりがあります。

また、私たちが安心して暮らすために、小さな「私にで
きるコト」を積み重ね、寄せ合って大きな力になる投げか
けやきっかけづくりをすすめています。

コープしがは、人が大切にされ誰もが安心して笑顔でく
らせる社会を目指して、組合員、役職員、地域の人々と力を
合わせていきます。



働きがいのある職場づくり

私たちは、組合員のくらしづくりに貢献する使命を持っ
ています。各々に与えられた役割や職責を全うしていくた
めに、コープしが職員像をもとに「コープしが職員人財育
成方針」を定めています。

コープしが職員像 コープしがの職員は一人ひとりが自立し集団の力で前進します

三つの心得

1. さわやかな笑顔で元気に挨拶します
2. 約束や職場のルールは必ず守ります
3. 誰にでも正直、親切、丁寧、素直に接します

行動綱領五箇条

1. 人の痛みがわかる心を持ち、地域社会に奉仕します
2. 常にコスト意識を持ち、ムダ・ムラ・ムリをなくします
3. いかなる仕事も情熱をもって最後までやり遂げます
4. 豊富な知識を身につけるため、努力を惜しみません
5. 健全な精神、健康な身体を維持します

内部統制基本方針に基づく運営

【コンプライアンス】

コープしがで働く私たち一人ひとりが、法令及び規則、ルー
ル、社会的規範を守り行動するため、コンプライアンス基本方
針・自主行動基準を定めています。

【リスクマネジメント】

コープしがの全業務に関わるリスクを洗い出し、個々に分析・
評価を行い、リスク管理表を作成し、リスク教育を行い、発生
防止に努めています。

【個人情報保護】

個人情報保護法にもとづき組合員データを適切に管理してい
ます。個人情報は規定やルールを明確にし、適正に取得・利用・
管理・廃棄の手順を定め、職員教育を徹底しています。

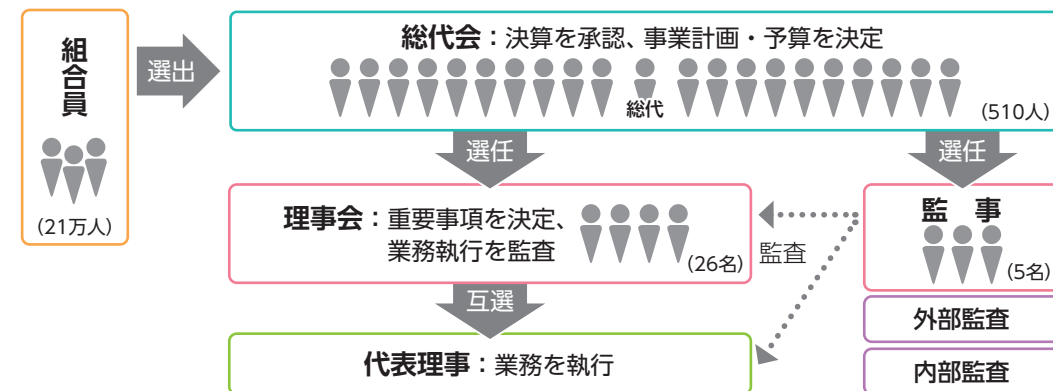
【危機管理】

重大なリスクが発生した場合、速やかに対応するため危機管
理規定や危機対応マニュアルを定め、訓練等を行っています。

生協とは

生協は「生活協同組合」の略で、数ある「協同組合」のひとつです。
消費者一人ひとりがお金（出資金）を出し合い組合員となり、協同で運営・利用します。
「よりよき生活と平和」をめざし、「よりよいものをより安く」「健康で豊かな暮らし」
という願いを実現するためにつくった自発的な「協同」「助けあい」の組織です。

コーポレートガバナンス



機関運営

コープしがの機関は、組合員の代表である
総代が方針や事業計画などを決定する**総代
会**、総代会で選任された**理事会**と組合を統轄
し業務執行する**代表理事**、その決定や業務
執行を監視する**監事**で運営を行っています。

理事会

理事会は毎月開催し、総
代会で承認された方針の
意思決定と代表理事や常
勤理事会の日常業務の執
行状況を確認しています。

監査

総代会から負託を受け理事会の
業務執行を監査する「監事監査」、
会計監査法人による「外部監査」、
内部監査担当による「内部監査」
の三様監査でチェックしています。

総代会



生協の最高意思決定機関です。組合員の代表である「総代」
が参加し、「昨年度の取り組みが、組合員の意思に沿って行われ
たか」「今年度の取り組みが組合員のくらしに貢献できるか」を
判断し議決します。また、定款・規約の改定、役員の選出も総代
会で行います。組合員が運営し、議決権を持つのも組合員である
「総代」だけです。



2021年度の機関運営

新型コロナウイルス感染拡大により、総代会関連会議は
開催時間の短縮や、少人数での開催、オンライン開催など
感染予防対策を講じながら開催しました。
会場数を大幅に増やし、くらしのことや総代会議案につ
いて総代の意見を丁寧に聞き取りました。

2019年度 議案検討会議	13会場
2020年度 議案検討会議	中止 ※新型コロナウイルス 感染拡大による
2021年度 議案検討会議	49会場 (オンライン含む)
2022年度 議案検討会議	27会場 (オンライン含む)

オンラインで総代会関連会議に参加された総代の声（アンケートより）

オンライン開催に私も他の方も慣れてきているような印象があり、皆さん自宅からなのでリラックスした発言が多かった
ように思います。オンラインの不便さや、敷居の高さがあるとは思いますが、逆に良さもあると感じます。移動時間もない
ので、滋賀県の端に暮らす私には大きな利点です。



たべることは生きること。私たちにとって食べものはとても大切なもの。
食べものはすべて生きものであり、その命をもらって私たちは生きています。
私たちは感謝する心を大切にしていきます。

たべる たいせつ



今年はオンラインをうまく活用し、オンラインでも交流ができる取り組みや、可能な限り、実際に集まっての開催と併用した取り組みを企画し実施しました。

つながる商品交流会 (2022/2/19)

毎年、生産者をお呼びして開催していた「商品交流会」は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、昨年に引き続きオンライン（Youtube配信）で開催しました。

「つながる商品交流会」は、商品を真ん中に「たべる人・つくる人・つなぐ人」みんなが笑顔になる楽しい交流会となりました。



ライブ配信の様子（CO・OPスタジオ）

コープでつながる！エエやん！

生産者が産地や食品工場の製造ラインなどをオンラインで紹介し、組合員は各会場でライブビューイングや各家庭からのオンラインで参加し、交流しました。



ライブビューイング会場の様子（南草津センター）

お試し商品セット

様々な商品をお得に試してもらえるよう、毎月3週目にお試し商品セットを企画しました。



「お正月のおやつセット」（1月3回企画）

アンケートより組合員の声

興味があってもなかなか注文できない商品が試せるので、とても良かったです。今後もいろいろな商品を紹介してください。料理のレパートリーが広がることを楽しみにしています。

「たべる＊たいせつ おうちで親子クラブ」(12/18)

親子で食育学習や調理実習が体験できる「たべる＊たいせつ親子クラブ」は、コロナ禍では自宅のできる活動をすすめてきましたが、「お子さんの笑顔が見たい」と、オンライン食育学習会を開催しました。

参加者の声

会場の参加も楽しいけど、おうちのオンライン参加は子どもたちがリラックスした状態でできました。



参加されたお子さん

鳥取に行ったつもり!?オンライン産直交流企画 (9/25)

毎年開催していた「サマーキャンプin鳥取」は昨年に引き続き開催を見送りましたが、「交流したい!」という組合員・生産者の声を受けて、オンライン産直交流企画を開催しました。当日はCO・OPスタジオから参加者の自宅にオンライン配信を行い、組合員15家族と一緒に、動画で牛乳や食用肉について学んだり、スタジオでクッキング教室をしたり、鳥取県と中継したりと、充実した企画となりました。

参加者の声

動画で見ると紙面では伝わらないこだわりや生産者の声が聴けて、安心して利用できます。



大山乳業農協・鳥取県畜産農協のみなさん

滋賀県立大学「食育推進隊」によるレシピ考案

2018年から、滋賀県立大学 人間文化学部 生活栄養学科「食育推進隊」の学生みなさんに、産直野菜を使ったレシピを提案いただいています。

今年は、滋賀県産のハナビラ茸を使ったレシピ「ハナビラ茸のきんぴら」を商品案内書コープしがマルシェで紹介しました。この取り組みは4年目となります。



食育推進隊のみなさん

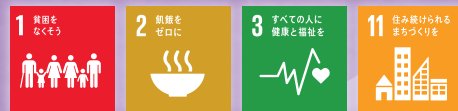
滋賀県栄養士会による食育啓発展示

滋賀県栄養士会の協力を得て、お店のイートインコーナーにて「美味しく食べて、感染予防～バランスよく食べて免疫力アップ」をテーマに情報展示を行いました。

- ながはま店 6月13日（日）～19日（土）
- かたた店 10月23日（土）～30日（土）



展示の様子



ふつうに生活できている今に感謝し、何気ない毎日を大切にします。
私たちは暮らしの願いの実現に向けて、「私にできるコト」をすすめます。

くらし たいせつ



コープしがアプリの開設

組合員の声をもとに作られた「コープしがアプリ」では、第1弾として「いまどこ」機能をリリースしました。宅配の配達時間の目安を事前にお知らせします。

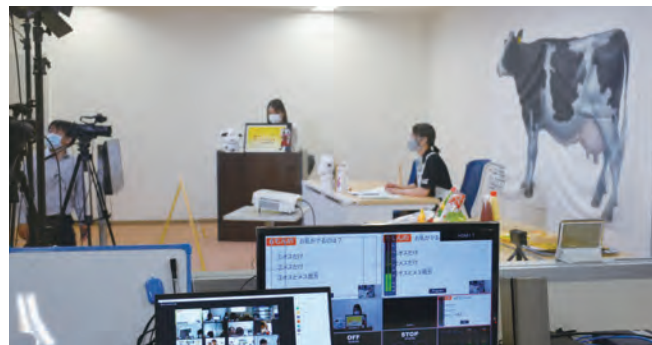
組合員の声

早速登録しました！先週の配達時間も分かってとても便利に使っています。



CO・OPスタジオの活用

コロナ禍での接触機会を減らした学習会の開催や、様々な場面で効率良く・効果的な情報発信を行うための手段として、野洲本部内にCO・OPスタジオを開設しました。オンラインの活用や動画コンテンツの作成をすすめています。今後、組合員も活用できるようさらに利用の幅を広げていきます。



CO・OPスタジオを活用した企画の様子

市民活動への支援

淡海文化振興財団（淡海ネットワークセンター）未来ファンドおうみ助成事業「笑顔あふれるコープしが基金」へあらたな寄付を行いました。今回の寄付で2030年まで市民活動を支援することができます。



みんなで取り組んだ募金など

ユニセフ・一般募金(内、1,380,000円をマンマー指定募金に寄付しました)	3,636,427円
ユニセフ・トンガ沖大規模噴火・津波 自然災害緊急募金	4,459,250円
ハンガーフリーワールド(書き損じハガキ回収キャンペーン)	5,570,513円
8月大雨災害支援募金	2,511,660円

組合員による商品の利用を通じた応援募金

みんなががんばろうサポート基金	2,622,149円
しが子どもの笑顔はぐくみサポート基金	360,876円
利用登録米の利用による「滋賀応援寄付」(1kg当たり1円)	294,091円
珊瑚再生もずく基金(1点当たり1円)*	106,746円

*「恩納村もずく」利用1点につき1円を積み立て、珊瑚保全に取り組む沖縄恩納村漁協を支援する取り組み

●全国の生協とともに取り組む募金（コープしが分）

CO・OPレッドカップキャンペーン(1点当たり1円)	373,564円
CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト(1パック当たり1円)	69,722円
CO・OP洗剤環境寄付キャンペーンWWFジャパン(1点当たり0.5円)	19,826円
CO・OP化粧品ピンクリボン運動(1点当たり1円)	18,457円

お買い物サポートカー 全店舗での運用がスタート

お店でのお買い物をサポートする仕組みの1つである「お買い物サポートカー」は、食料品などのお買い物が不便な方を対象に、ご自宅からお店まで無料で送迎するサービスです。2021年からは、コープもりやま店・ながはま店でも運用が開始し、全店舗で実施しています。(登録者数:201人)



お買い物サポートカー

組合員の声（もりやま店）

自転車では恐る恐る来ていましたが、送迎の取り組みが始まって嬉しいです。とても助かります。

～その他のお買いもの支援～

- お買い物代行：電話でご注文された商品を、ご自宅にお届けするサービス
- お買い上げ配達：お店でお買い物された商品を、その日の夕方までにお届けするサービス

はじまるばこ

コープしがでは、滋賀県にお住まいの、1歳未満の赤ちゃんのおられるご家庭を対象に、便利な育児サポート商品の詰め合わせ「はじまるばこ」を無料でプレゼントしています。※利用されたママたちの声を参考に、2021年に箱をリニューアルしました。



組合員の声

赤ちゃんが生まれた時にもらって嬉しかったです。色んな商品を試せて参考になりました。



「ふだんのくらしのしあわせ」を実感したい。
私たちは、人々のささえあい・助け合いの活動を
すすめ、みんなが幸せになることを目指します。

ちいき
たいせつ



自治ステーションのスタート

長浜市で第1号となる自治ステーションをスタートしました。買い物に不自由な地域の方や居場所の活性化にお役立ちするために、宅配の商品を受け取るステーション機能を活用して、その場所が地域の「集う場」となるきっかけになるように地域の方々とともに開設をすすめています。第1号は、えぎまちテラス長浜にある「子育て応援カフェ LOCO」でスタートしました。



自治ステーション初回配達日の様子

自治ステーション代表者の声

ステーションを利用することで働くお母さんがさらに働きやすくなったり、みんなの生活がさらに便利になっていったら嬉しいです。

できるコトづくり制度の 助成と支援

2018年に創設された「できるコトづくり制度」は、「想いや願い」を持った団体が新たな一歩を踏み出すための「学びの場（できるコトづくり講座）」の提供と、その「想いや願い」を実現させるために必要な「資金助成（できるコトづくり助成）」からなっています。2021年度は「はじめて助成」7団体、「活動助成」8団体に助成を行いました。
※2020年度からの継続申請含む



「ぶらっとカフェコンサートプロジェクト」によるクリスマスコンサートの様子

2021年度「はじめて助成」の助成団体「ぶらっとカフェコンサートプロジェクト」は、「もっと身近にクラシックを楽しんでほしい」と、活動をスタートしました。12月にはクリスマスコンサートを開催し、会場は美しい音色に包まれました。

組合員どうしの助け合い「ささえあいサポート」

ささえあいサポートは組合員どうしの助け合い活動です。お手伝いするのは、組合員と家族のみなさんです。地域ごとに組合員で構成するコーディネーター会が依頼受付からサポーター手配など、運営を担っています。

●2021年度ささえあいサポート利用件数：2,098件



サポート活動の様子

ご利用者の声（家の掃除のサポート）

この度は、サポーターさんありがとうございました。ここ数年高い所に上がったり、重い物を持ったりすることが不自由になり、カーテン、窓、レンジフード等の汚れが気になっていましたが、若いサポーターさんのおかげですっかりキレイになり、気持ち良く年を越せます。どうぞこれからもお手伝いよろしくお願いします。

子育ての見守り

2つの自治体から業務委託を受けて、1歳未満の赤ちゃんがいるご家庭に、毎月おむつなどを届けています。子育て経験のある専任スタッフが、子どもやお母さんの健康状態の確認・悩み事の相談など、孤独になりがちな子育て中のお母さんを支援しています。

※甲良町「見守りおむつお届け便」／東近江市「見守りおむつ宅配便」



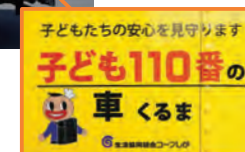
お届けの様子

東近江市おむつ宅配便利用者の声

いつも明るく元気で気さくでとても話しやすかったです。外出することが少なく、他の方との関わりが少ないので、毎月おむつ配達の日が楽しみでした。

子ども110番の車

コープしがの宅配トラックは、子ども110番の車です。地域の子どもたちの見守り活動も行っています。



飛び出し注意看板の配布

配送車両が、見通しの悪い細い道から飛び出してきた子どもさんと衝突し、けがを負わせたという重大事故を機に、再発防止策の一つとして「飛び出し注意」看板を組合員さんを通して地域に配布しています。

●2021年度の配布枚数：830枚



組合員の声

この辺は道が狭くスピードを出している車が通ると、とても危険だったので、とりあえず安心です。

認知症サポーター講習

高齢化がすすむ組合員のくらしを見守るため、認知症の正しい知識を持ち、認知症の本人・家族の気持ちを理解できることを目的に、実施しています。全職員がサポーターとなれるよう受講をすすめています。



サポーターの証、オレンジリング

キッチンカー健康教室

食を支えるコープしがが「地域での健康づくり」のお役立ちとして行っている出前型の健康教室です（無料）。

赤いキッチンカーで滋賀県内の高齢者サロンや老人クラブ、子育てサークルなどに伺い、クイズを交えながら健康のお話やレシピを紹介しています。

●2021年度開催回数：44回



健康教室の様子



滋賀県の約6分の1を占めるびわ湖。周囲の緑豊かな山々や田園風景は、私たちのくらしにやすらぎを与えてくれます。コープしがではふれあう体験の場を通じてびわ湖や自然を大切にする心を育んでいきます。

びわ湖を たいせつ



考えてやってみよう！ びわ湖清掃ウォーク 2021 (8/2~9/30)

コープしがでは毎年コープしがの「びわ湖の日」※に「びわ湖清掃ウォーク」を開催し、約500人でびわ湖岸の清掃活動を行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年に引き続き、家族や友達と気軽に取り組める活動として呼びかけ、556人が参加しました。

※コープしがでは、毎年9月の第一土曜日をコープしがの「びわ湖の日」と定めています。

参加者の声

家の周りの溝を家族で掃除してみました。葉っぱやゴミが落ちていて、これが琵琶湖に流れて行ったら琵琶湖が汚くなるねと話しながら行いました。環境について考えるよい機会になりました。



清掃活動の様子

清掃活動だけでなく、びわ湖をたいせつにするためにお家でできることにも取り組みました。



廃油で作った石けん



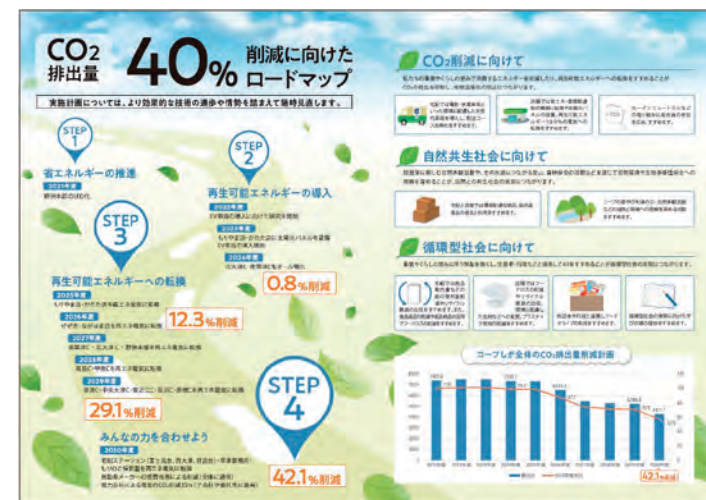
みつろうラップ

CO₂排出量40%削減に向けた ロードマップ

ロードマップを策定しました。

STEP1	省エネルギーの推進
STEP2	再生可能エネルギーの導入
STEP3	再生可能エネルギーへの転換

2030年度には、2013年度対比CO₂排出量の42.1%の削減を目指します。



CO₂削減の取り組み

身近な明かりを消してCO₂の削減や地球温暖化について考える夏のライトダウンキャンペーンには86人が、冬のエコライフキャンペーンには、78人の組合員が取り組みました。

参加者の声

電気料金の節約にもなるし、一石二鳥だと話し合いました。



コープぜぜ店ライトダウンの様子

コープの森余呉 森林ボランティア (5/29)

今年は職員21名の参加で、昨年冬の雪で倒れた苗木に補強の棒を2本打ち込み、倒れている苗木を防護ネットのまま起こして倒れた杭を固定して起こす作業を行いました。滋賀県北部の積雪の多い地域で、大切な作業となっています。



コープの森あぶらひ 森林ボランティア (11/13~14)

今年は2日間とも天候に恵まれ、両日とも実施できました。13日(土)に24名と14日(日)に5名が参加しました。油日上野共有生産森林組合の組合員さんたちの「秋山作業」にお邪魔して、獣害防止のテープ巻きや間伐、枝打ち作業を手伝いました。



間伐作業の様子

~中之郷生産森林組合とのパートナー協定を終了しました~

2012年に中之郷森林組合とパートナー協定を締結し、7年間の計画で森林整備を支援してきました。林道の整備や間伐・植栽などコープの森余呉として、親しみながら組合員や職員がボランティアに取り組みました。この活動で吸収したCO₂の排出量は、杉の木783本分となりました。

予定を3年間延長して活動を継続してきましたが、2022年3月20日で協定を終了しました。



コープしがは、平和な社会の実現を目指して、命の尊さを考え、お互いの人権を守り安心して暮らすづくりを進める場を広げていきます。

いのち たいせつ



オンライン「県内戦争遺跡巡り」(7/31)

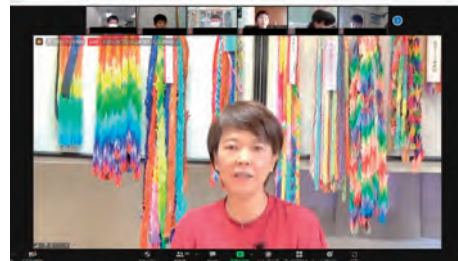
コープしがでは毎年バスで県内戦争遺跡巡りを実施していましたが、今年はオンライン企画として開催しました。滋賀県内の戦争遺跡や戦争体験について、動画や写真を見ながらお聴きし、平和について考える機会となりました。



八日市掩体壕の紹介動画

オンライン子ども平和会議 (8/7)

コープしがより2名参加しました。参加者は、3つのテーマの事前課題に取り組んだ上、学習会に参加しました。全国から参加している子どもたちと、平和について考える貴重な体験となりました。



オンラインワークショップの様子

参加者の声 (10代)

戦争がどれほど怖いものかを知ることができた。グループで話し合っ、いろいろな意見が聞けて良かった。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める署名」の取り組み

コープしがでは、2021年1月に理事会声明を出し、「核兵器禁止条約」の発効を歓迎するとともに、平和政策に基づき、世界でヒロシマ・ナガサキの惨事を繰り返さないためにも、核兵器廃絶を目指して世界の人々とともに取り組みを続けることを表明しました。

この「核兵器禁止条約」に日本政府が署名し批准するよう要請する署名運動を、日本原水爆被害者団体協議会が始めたことを受け、コープしがでは取り組みに賛同し、核兵器廃絶を日本政府に呼び掛けるため、署名活動を行いました。

●2021年実績 筆数：7,723筆

県内自治体との協定・覚書

コープしがは、理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」の実現に向けて、ともに暮らしづくりをすすめるためのつながりの強化を目指し、滋賀県内市町の首長訪問と市町との協定締結をすすめています。

現在、以下の自治体と見守りや災害時の協力に関する協定・覚書を結んでいます。

●県内自治体との協定・覚書一覧

市町名	協定・覚書の名称
東近江市	東近江市と生活協同組合コープしがとの「子ども110番事業」に関する覚書
米原市	絆で築く安心なまちづくりに関する協定
草津市	「安心」が得られるまちづくりに関する協定
長浜市	長浜市・地域の安心見守り活動に関する協定
高島市	見守りネットワーク事業に関する協定 など
近江八幡市	近江八幡市高齢者安心見守り活動に関する協定 など
彦根市	彦根市高齢者安心・安全ネットワーク活動に関する協定 など
愛荘町	地域の見守りネットワークに関する協定 など
守山市	災害時における生活物資の調達に関する協定 など
甲良町	甲良町「安心」が得られるまちづくりに関する協定
多賀町	地域の見守りネットワークに関する協定
野洲市	野洲市見守りネットワーク協定
大津市	大津市高齢者等地域見守りネットワーク事業に関する協定 など
湖南市	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定書
日野町	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定書
竜王町	まちづくりに関する包括連携協定
滋賀県	滋賀県と生活協同組合コープしがとの包括連携協定書 など



竜王町との協定締結式の様子 (2022/3/24)



3月2回コープしがマルシェで企画された竜王町いちご

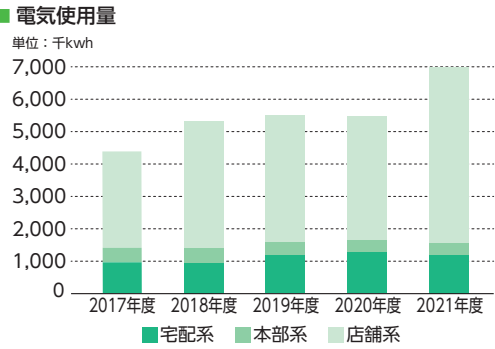
市町との包括連携協定の締結は竜王町が初めてです。くらしは見守り・災害時の協力と限定されるものではなく、食や健康など多岐にわたるため、コープしがでは、お役立ちの可能性を広げるためにも包括連携協定をすすめていきたいと考えています。

事業における環境報告

コープしがは「環境政策」に基づき、事業と活動の両面で地球温暖化防止や自然環境の保全、廃棄物の削減などの取り組みをすすめています。「環境マネジメントのシステム」を独自運用して環境管理に取り組んでいます。

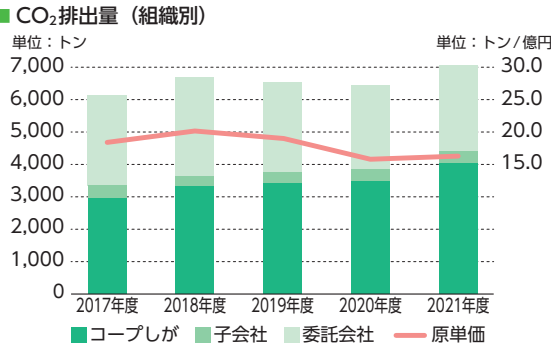
● エネルギーの効率的な使用とCO₂排出量の削減

[エネルギーの効率的な使用]



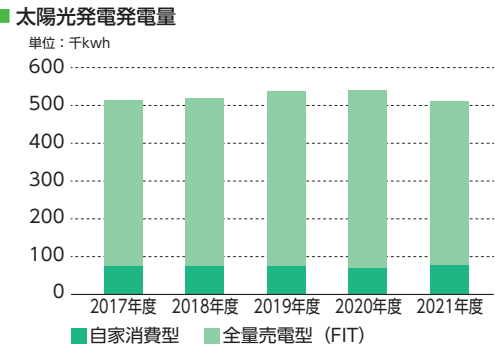
2021年度の電気使用量の目標は、コープしが全体で前年度維持を目標に取り組みました。店舗系においてコープながはま店の出店による影響で増加しました。コープながはま店を除いた実績では前年度比98.8%となりました。

[CO₂排出量の削減の取り組み]

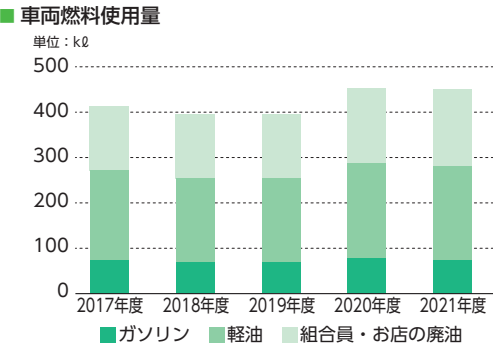


全体としては前年比110.1%と増加しました。店舗での排出量がコープながはま店の出店で138.7%と増加しています。宅配は前年比98.9%となっています。供給高1億円当たりのCO₂排出量は17.3トンとなり、前年比102.3%となりました。

[再生可能エネルギーへの取り組み]

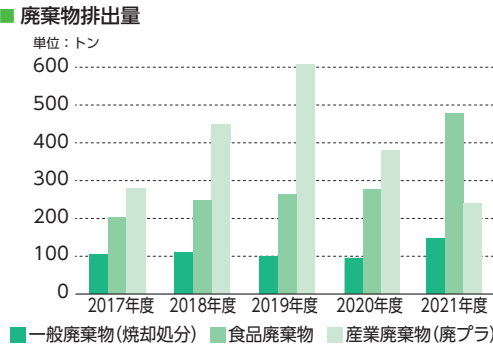


ほぼ一定の発電量となっています。



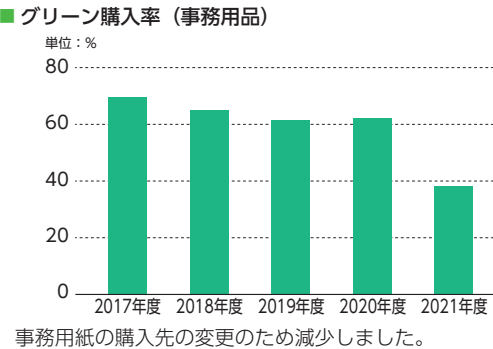
車両燃料は、ガソリンと軽油の燃費を前年度維持として取り組みましたが配送個所の増加と物量の増加により、前年比98.8%となりました。BDF燃料を5%配合した「BDF 5」の使用は101.9%になりました。

[事業活動による廃棄物の削減]



事業系の一般廃棄物は改装工事などにより廃棄量が増加しました。宅配での返品が増加して食品廃棄物が全体で増加しました。2019年度から稼働したハートコープしがの子会社による店舗の廃プラは体積計量から重量計量に変更した事業所で大きく削減できました。

[グリーン購入の取り組み]



事務用紙の購入先の変更のため減少しました。

環境に配慮した商品の普及実績

エコマーク 供給高:400,458,848円(156.8%) 供給点数:1,300,230点(162.8%)	FSC® 供給高:1,202,283,649円(139.9%) 供給点数:2,468,379点(154.9%)	MSC 供給高:107,219,934円(134.8%) 供給点数:291,152点(125.6%)	ASC 供給高:3,667,852円(344.9%) 供給点数:8,428点(389.3%)
MEL 供給高:23,860,206円(90.5%) 供給点数:26,519点(46.2%)	有機JASマーク 供給高:49,871,290円(81.7%) 供給点数:150,810点(82.9%)	特別栽培農産物 供給高:62,944,714円(89.9%) 供給点数:217,248点(88.2%)	レインフォレスト・アライアンス 供給高:95,033,782円(98.7%) 供給点数:356,720点(101.8%)
CFP 供給高:71,356,172円(42.8%) 供給点数:123,081点(46.3%)	洗剤環境寄付キャンペーン 供給高:27,658,698円(73.0%) 供給点数:39,653点(76.0%)	RSPO 供給高:21,223,919円(82.1%) 供給点数:36,478点(88.8%)	スラウェシ島エビ養殖改善協力金 供給高:82,142,984円(101.8%) 供給点数:97,653点(99.1%)

()は前年比

♥ 循環型社会をめざして

*牛乳パックは、ただいまロール・おかえりティッシュに、たまごパックとペットボトルは、たまごパックにリサイクルされます。

リサイクル回収実績

(2021年4月～2022年3月)

●2021年度リサイクル売却実績

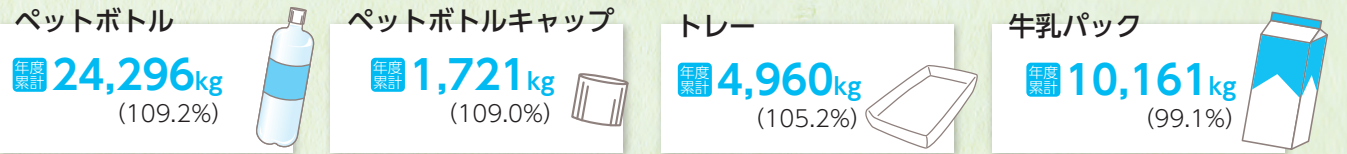
3,371万円

※古紙の相場が下落し、買取単価が大幅に減少しました。
()は前年比

宅配回収物



店舗回収物



※店舗では、2022年度より、古紙・段ボール・アルミ缶の回収をスタートします。

コープしがの概要 (2022年3月20日現在)

名称 生活協同組合コープしが
設立 1993年3月21日
滋賀県内4生協が合併して発足。(大津生協・湖南生協・東部生協・北部生協)
本部 滋賀県野洲市富波甲972番地 TEL 077-586-1112 (代表)
代表理事 (理事長) 白石 一夫 (専務理事) 高橋 剛太
組合員数 21万5,425人
加入率 37.1% (= $\frac{2022年3月20日現在の滋賀県在住の組合員数}{2022年3月1日現在の県統計世帯数}$)
出資金 128億5,520万円
供給高 409億397万円
(内訳) 宅配事業 313億4,146万円
店舗事業 77億8,811万円
夕食宅配 4億632万円
エネルギー事業 13億6,806万円

職員数 総合スタッフ 309人
エリアスタッフ 108人
シニアスタッフ 23人
嘱託スタッフ 27人
専属スタッフ 16人
定時スタッフ 1,027人
(フルタイム換算 381.3人)
※定時スタッフ数にアルバイト含む



「供給高」とは
生協では、組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業であることから、「売上高」ではなく「供給高」という言葉を使用しています。

コープしがの事業所・事務所一覧

本部・事務所・その他施設	
本部	野洲市富波甲972
ゆめふうせん	大津市真野5-33-25
草津事務所	草津市西草津2丁目1-1
ケアサポートセンターぼこ野洲	野洲市富波甲972
コープもりのこ保育園	守山市勝部3丁目14-27
店舗	
コープぜぜ店	大津市竜が丘1-1
コープもりやま店	守山市勝部3丁目15-30
コープかたた店	大津市衣川1丁目17-1
コープながはま店	長浜市宮司町1200

宅配事業センター	
南草津センター	草津市笠山5丁目3-50
北大津センター	大津市真野5-33-25
草津センター	草津市上寺町可摺281-1
中央大津センター	大津市国分2-226-22
甲南センター	甲賀市甲南町市原303-6
東近江センター	東近江市五箇荘清水鼻町153-6
長浜センター	長浜市西上坂町1020-1
彦根センター	彦根市竹ヶ鼻町四反地224-1
高島センター	高島市新旭町新庄799

コープしがのグループ会社



株式会社シガフードプロダクツ

所在地 甲賀市甲南町寺庄330
事業内容 食肉加工およびパック加工済み商品・畜肉加工品の販売
設立の目的 生肉の生産、流通および加工までを一元管理し、安全・安心・良質な肉を適正価格で安定供給するため



株式会社タクス

所在地 野洲市富波甲972
事業内容 保険代理店業、不動産事業、旅行事業
設立の目的 組合員の暮らし全般をサポートするため、生協では扱えない事業分野での事業展開を図るため



株式会社コープシステムサービス

所在地 近江八幡市長光寺町瓶割山951-4 (AZ-COMロジスティクス滋賀内)
事業内容 産地パックの全量点検業務、原料加工業務、店舗輸送元請け業務、チケツ仕分け転送業務
設立の目的 流通に関する専門的なノウハウを導入し、適切な物流管理の遂行およびコープしがの物流費をコントロールするため



株式会社ハートコープしが

所在地 野洲市富波甲963-1
事業内容 農産物の生産・加工・販売、宅配商品通い箱等の洗浄作業受託、食品循環資源等の再生利用作業受託
設立の目的 障がいのある方々の「働きたい」願いや自立の手助けの場を提供するため



株式会社滋賀有機ネットワーク

所在地 近江八幡市長光寺町瓶割山951-4 (AZ-COMロジスティクス滋賀内)
事業内容 農産物、農産加工品の販売・農業資材の販売
設立の目的 県内での産直有機農産物の産地づくりの推進と、農産物の物流拠点を確立するため



「しが生物多様性認証制度」で、
2019年度最高評価の「3つ星」の
認証を獲得しています。

コープしがへの期待と受け止め、これからもSDGsに基づく事業と活動を組合員のみなさんとともにすすめていきます。



生活協同組合コープしが

<https://www.pak2.com/>

「スパイラル」はコープしかのシンボルマーク。

巻貝・波紋・風などの自然を象徴し、
さらに求心と拡大、進化の軌跡などの発展を表しています。



公式ホームページ



公式Facebook



公式Instagram



公式YouTube



- 用紙: 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ: 環境配慮型インキ (植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- CO₂排出量: 249g/部